

一〇六八番

天あめの海うみに
隠かくる見みゆ

雲くもの波なみ立たち

月つきの舟ふね

星ほしの林はやしに

漕こぎ

一〇六九番

常つねはさね
く 惜をしき夕よひかも

思おもはぬものを

この月つきの

過すぎ隠かくらま

一〇七〇番

ますらをの
清きよく 照てる月つき夜よかも

弓ゆ末すゑ振ふり起おこし

獵かり高たかの

野の辺へさへ